「これからの学びを創る未来の学校の姿① ~小中一貫教育の今後~」

令和4年11月15日 岐阜市教育委員会事務局 学校指導課

- 1. 小中一貫教育が求められる背景・理由
- 2. 岐阜市の小中一貫教育の取組について
- 3. 岐阜市型小中一貫校以外の成果と課題について
- 4. 岐阜市型小中一貫校の成果と課題について
- 5. 小中一貫教育の今後について
- 6.論点整理

- 1. 小中一貫教育が求められる背景・理由
- 2. 岐阜市の小中一貫教育の取組について
- 3. 岐阜市型小中一貫校以外の成果と課題について
- 4. 岐阜市型小中一貫校の成果と課題について
- 5. 小中一貫教育の今後について
- 6.論点整理

1.小中一貫教育が求められる背景・理由

小中ギャップの解消

- 心身の成長の早期化
- 自己肯定感の低下
- ・ 学習や友達に対する不安の増加
- ・環境変化に対する 心理的負担の増加

1.小中一貫教育が求められる背景・理由

小中ギャップの解消

- 指導の一貫性の確保 (子どもの学びの一貫性)
- 9年間の系統性・連続性の指導が 十分意識されていない
- 小中間の生徒指導や教育相談に関する 共通理解、共通行動が必要
- ・小学校高学年時より、専門的な指導の 充実(教科担任制の導入)
- 義務教育学校の設置、制度の検討
- ・児童生徒にとって「小中リセット」が ないように、一貫性の確保

- 心身の成長の早期化
- ・ 自己肯定感の低下
- ・ 学習や友達に対する不安の増加
- ・環境変化に対する 心理的負担の増加

参考文献:『小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引き』

1.小中一貫教育が求められる背景・理由

小中ギャップの解消

• 学習や友達に対する不安の増加

・環境変化に対する

• 心身の成長の早期化

• 自己肯定感の低下

心理的負担の増加

社会性機能の強化

- 地域コミュニティの衰退
- 集団規模が確保できない
- 集団での遊びの機会減少
- ・異年齢の関わりの減少

指導の一貫性の確保 (子どもの学びの一貫性)

- 9年間の系統性・連続性の指導が 十分意識されていない
- ・小中間の生徒指導や教育相談に関する 共通理解、共通行動が必要
- 小学校高学年時より、専門的な指導の 充実(教科担任制の導入)
- 義務教育学校の設置、制度の検討
- 児童生徒にとって「小中リセット」が ないように、一貫性の確保

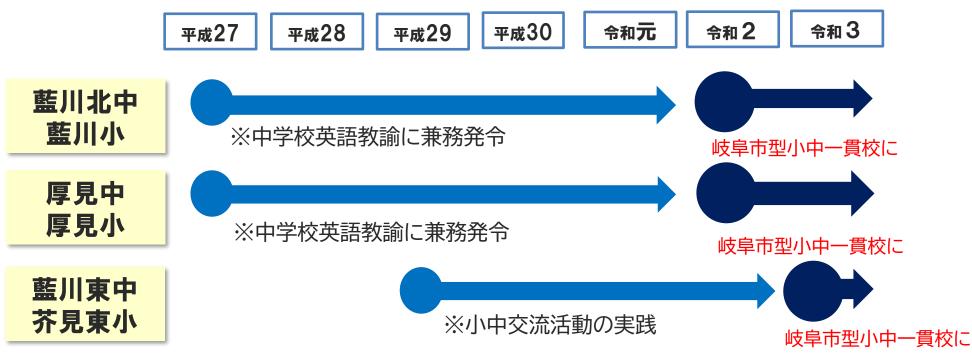
参考文献:『小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引き』

- 1. 小中一貫教育が求められる背景・理由
- 2. 岐阜市の小中一貫教育の取組について
- 3. 岐阜市型小中一貫校以外の成果と課題について
- 4. 岐阜市型小中一貫校の成果と課題について
- 5. 小中一貫教育の今後について
- 6. 論点整理

平成20年度より、「小中一貫教育推進事業」を開始

義務教育9年間の教育活動を連続したものとして捉え、 小中学校の全教職員が共通理解した指導を行い、 学校間・校種間の枠を超えた一貫した指導を推進。

令和2年度より、岐阜市型小中一貫校を指定



2. 岐阜市の小中一貫教育の取組について

小中ギャップの解消

■児童生徒交流

- ·児童会·生徒会交流
- ·挨拶運動
- ・よさ見つけ
- ·職場体験

■教職員の連携

- ・生徒指導、教育相談、いじめ・不登校問題についての児童生徒の情報交流
- ・管理職、教務主任、生徒指導 主事、いじめ対策監、ハートフ ルサポーター等、役職別の交流



工夫して行うあいさつ運動









常磐小学校 校長・教頭 ○教務・生指 ○教務・生指

青山中学校 校長・教頭・○教務・生指

小中一貫教育推進本部

2. 岐阜市の小中一貫教育の取組について





指導の一貫性の確保 (子どもの学びの一貫性)

■学習指導改善の取組

- ・学習指導に係る交流 (授業の進め方やノート指導、家 庭学習指導等)
- ・共同授業研究、校内研究の交流
- ・小中乗り入れ指導、教科担任制 による指導





■生徒指導、教育相談の充実 に向けた取組

- ・生徒指導、教育相談等に係る合 同研修会の実施
- ・小中合同活動の企画、運営

岐北中校区小中一貫教育推進会議(年2回)。

5 校校長・教頭・各部会主務・人権担当主事4 事務局(岐北教頭、各部会主務、人権担当主事)。

教務連絡部会 (西郷教頭) 主務_西郷教務

5 校教務主任

道徳人権部会 (黒野・方&網教頭 主務_岐北 副___方県

生徒指導部会 (岐北教頭) ₽ 主務_岐北B担4

5 校道徳・人権担当 5 校生徒指導主事

総会 年1回 各部会 年3回4

2. 岐阜市の小中一貫教育の取組について









コロナ禍でも 工夫をして 中学校区で 地域連携







社会性機能の強化

■児童生徒による地域活動

- ・地域での児童生徒の交流
- ・防災訓練、清掃活動、ボラン ティア活動

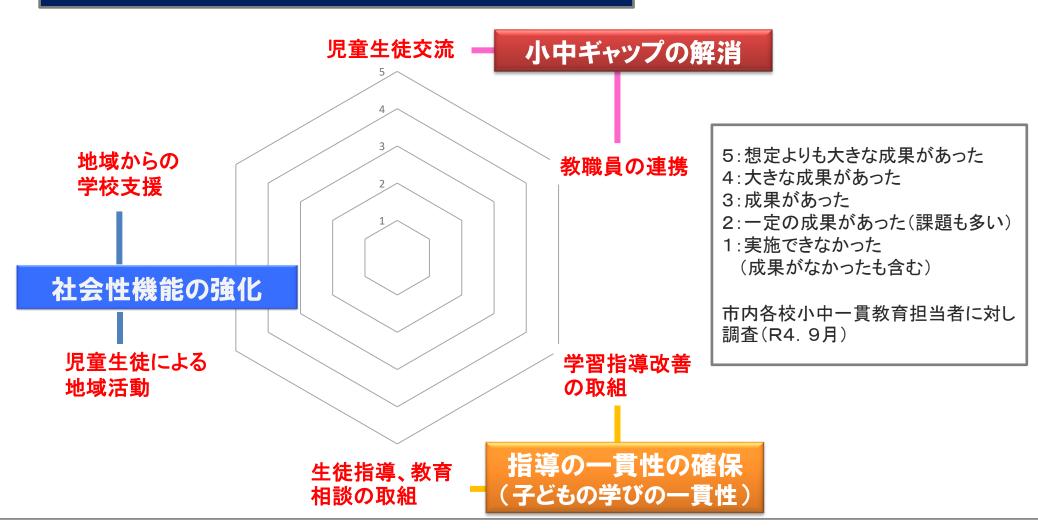
■地域からの学校支援

- ・コミュニティスクールを生かし た教育活動の支援
- ・地域からの子どもの価値付け、 学校教育への参画

- 1. 小中一貫教育が求められる背景・理由
- 2. 岐阜市の小中一貫教育の取組について
- 3. 岐阜市型小中一貫校以外の成果と課題について
- 4. 岐阜市型小中一貫校の成果と課題について
- 5. 小中一貫教育の今後について
- 6.論点整理

3. 岐阜市型小中一貫校以外の成果と課題について

小中一貫教育についての アンケート調査を実施



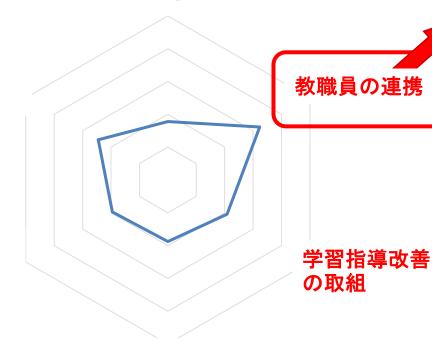
3. 岐阜市型小中一貫校以外の成果と課題について

岐阜市型小中一貫校以外の小中63校へのアンケート結果から

岐阜市型小中一貫校以外の平均値 児童生徒交流

地域からの 学校支援

児童生徒による 地域活動



成果

- ■教職員の連携
- ・管理職、教務主任、生徒指導主事、いじめ対策監、 ハートフルサポーター等、 役職別の交流の活発化
- ・生徒指導、教育相談、いじめ不登校問題についての児童生徒の情報交流の活発化

3. 岐阜市型小中一貫校以外の成果と課題について

岐阜市型小中一貫校以外の 小中63校へのアンケート結果から

課題

- ・ 小中の職員間で行う打ち合わせ時間の確保
- ・小中合同で行う研修の設定・日程調整
- ・交流の際の移動手段や移動時間の確保



オンラインを活用し 時間的・空間的な課題を軽減している 実践例を紹介していく

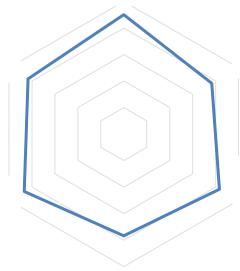
- 1. 小中一貫教育が求められる背景・理由
- 2. 岐阜市の小中一貫教育の取組について
- 3. 岐阜市型小中一貫校以外の成果と課題について
- 4. 岐阜市型小中一貫校の成果と課題について
- 5. 小中一貫教育の今後について
- 6.論点整理

岐阜市型小中一貫校 アンケート調査の結果

児童生徒交流

地域からの 学校支援

児童生徒による 地域活動



教職員の連携

学習指導改善 の取組

生徒指導、教育 相談の取組

全ての項目で高いポイントバランスもよい

小中ギャップの解消

指導の一貫性の確保 (子どもの学びの一貫性)

社会性機能の強化

■児童生徒交流

【厚見学園】「温言」活動

小中の児童生徒が互いによさを交流

「自分には、よいところがあると思う」 厚見学園 54.5% (全国:37.7%) (令和4年度 全国学力·学習状況調査 児童生徒質問紙)

自己肯定感の高まり

【藍川北中】6年生1日入学

昨年度、中学校の校舎で週 | 回学んだことについて

「よかったと思う」 100% (藍川北中学校 | 年生へのアンケート R4.7月)

心理的負担の軽減

【参考】

令和3年度も高水準 厚見学園 47.4% (全国 35.4%)

【参考】

教員の声

→教員同士の接点が増え 交流が多くなる。

小中ギャップの解消

指導の一貫性の確保(子どもの学びの一貫性)

社会性機能の強化

■教職員の連携

【3中学校区】兼務発令

乗り入れ授業、小中交流授業

乗り入れ授業についての肯定的な回答94%

(藍川北中学校 | 年生へのアンケート R4.7月)

「専門的な指導が受けられる」

「専門的な内容を教えてもらえる」

「中学校に進学した時に知っている先生がいるので安心」

「中学校生活について知ることができる」など



学習意欲の向上 中学校への不安軽減

【参考】

小中乗り入れ授業についての 回答を分類した結果

- ・小中ギャップの軽減 50件
- ・専門性の高い授業 37件
- ・小中の教諭の研修 12件

成果として多い意見

⇒児童:不安軽減、進学へ意欲

⇒教員:情報交流、情報共有

小中ギャップの解消

指導の一貫性の確保 (子どもの学びの一貫性)

社会性機能の強化

■教職員の連携

【3中学校区】 充実した生徒指導、教育相談の取組

- ・管理職の合同会議
- ·小中職員会議
- ·小中生徒指導、教育相談部会

これらを日常的に実施



教員の連携強化 児童生徒の理解の深化 指導方針の統一





小中ギャップの解消

指導の一貫性の確保(子どもの学びの一貫性)

社会性機能の強化

■学習指導改善の取組

(中学校教員が、小学校で教科担任として授業)

厚見小学校

甚	П	1	\学	校
555	<i>)</i> [[/]	\	小工义

学年	教科担任
6年	図工
6年	音楽
5年	音楽
4年	図工
5年 4年 3年 1年	英語 (週1回)

学年	教科担任		
6年	図工		
6年	算数		
6年	英語		
6年	保健体育		
5年	音楽		
5年	音楽		
4年	図工		

専門性の高い授業による学習意欲の向上 中学校への不安軽減

【参考】

・中学校教員のうち小学校教員免許を 有する者の割合

全国 25.9%

(小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引きより)



・小・中学校両方の教員免許を有する者 の割合

岐阜市 80.3%(R4年度)

【岐阜市型小中一貫校

→教諭全員に兼務発令】

全国的には、

小中一貫教育推進の大きな課題の一つ

岐阜市の場合、

小中両方免許所有者が非常に多く小中一貫教育を推進しやすい環境

小中ギャップの解消

指導の一貫性の確保 (子どもの学びの一貫性)

社会性機能の強化

■児童生徒交流

- ① 友達や下級生に優しくできる 児童生徒
- ② 相手の気持ちをよく考えて関わるうとする児童生徒
- ③ 中学校の生徒の責任感や自己 肯定感の高まり、学校全体の落ち 着き

(岐阜市型小中一貫教育推進事業ヒアリング結果)



■児童生徒による地域活動

【参考】

異年齢交流・異学年交流の効果

- ① 社会性やリーダーシップの育成
- ② 新しい気づきや既習事項の振り返り、 学習意欲の向上
- ③ 中学校生活に対する不安感の軽減、 小中ギャップの解消
- ④ 十分な集団規模を確保の確保
- ⑤ 人間関係が固定化の解消と多様な 人間関係の構築
- ⑥教職員の協力関係の構築
- (小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引きより)



「中学生が小学生に対して優しくなる」を強く実感

岐阜市型小中一貫校の成果からみえてきたこと

- 一人の校長による小中の一体的なマネジメント 兼務発令による小中の垣根の低減
 - ⇒ 9年間の教育目標を定め、一貫したカリキュラムを編成 小学校教科担任制の導入による乗り入れ授業の実施 異学年交流の積極的な実施

など

小中一貫校制度の特色である

「一貫性・柔軟性」を活かした取組の実施が 成果につながっている

別々の教員組織、施設の分離による課題

- ▲別々の教員組織(⇒小中それぞれに組織文化があり、担当者がいる) 行事を一つ行うにも・・・
 - ・趣旨や方向性等の共通理解を図ることが必要
 - ・内容・日程調整が必要

生徒指導・教育相談等の迅速な対応が求められる場面でも調整が必要な場合がある

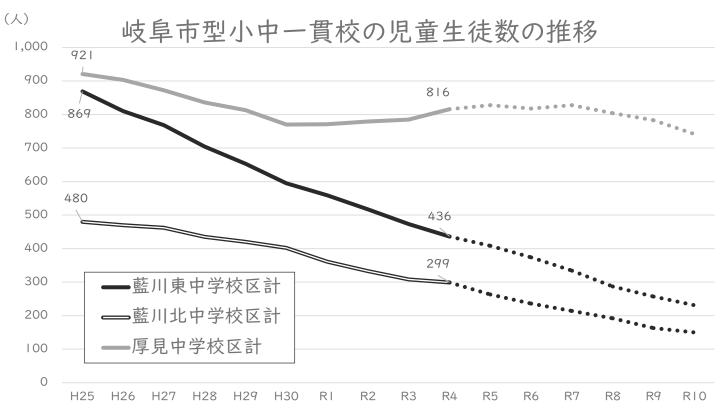
▲施設の分離

授業や行事、連携強化のため、<u>頻繁な移動(行き来)が必要</u> 書類や器具等の物が共有できないため、入念な事前準備が必要 業務上、相手校に行く機会の少ない教職員がおり、相手校の 児童生徒にとって<u>関わる大人が限定</u>される

児童生徒数の減少による課題

藍川東中学校区、藍川北中学校区・・・児童生徒数が急減

⇒ 人間関係の固定化、人との関わりの減少等



※R5~R10は、指定区別年齢別男女別人口調べ(岐阜市住民基本台帳データ)等をもとに推計

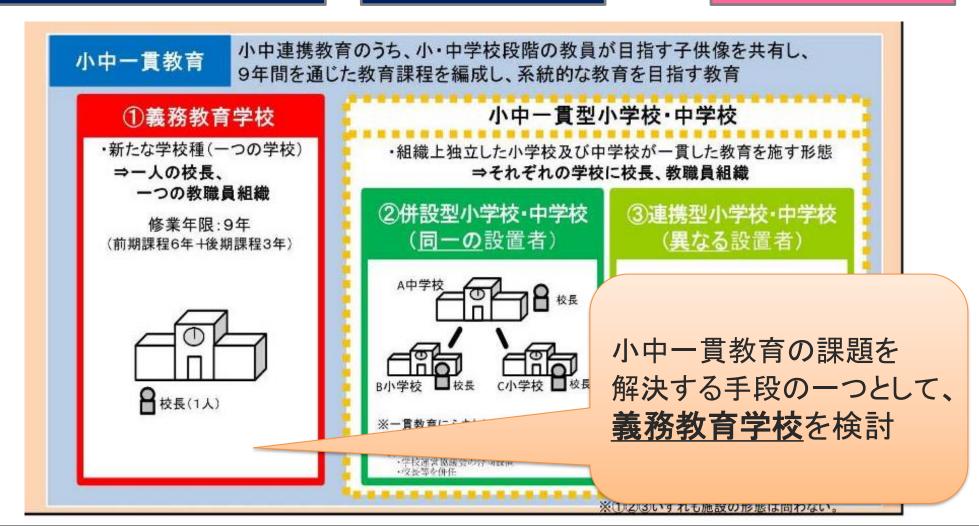
- 1. 小中一貫教育が求められる背景・理由
- 2. 岐阜市の小中一貫教育の取組について
- 3. 岐阜市型小中一貫校以外の成果と課題について
- 4. 岐阜市型小中一貫校の成果と課題について
- 5. 小中一貫教育の今後について
- 6.論点整理

別々の組織、施設の分離

児童生徒の減少

 \rightarrow

ーつの方策として 義務教育学校



義務教育学校化により期待されること

現在抱える課題

別々の組織(小・中)

施設の分離

人との関わりの減少 地域コミュニティ減少

義務教育学校

特徴

一つの組織

一つの施設 (1~9年生が 同じ空間で生活)

地域の物的・人的資源の一元化

期待される効果

- ・教職員と子どもたちが9年間の教育に 責任をもつ
- ・生徒指導・教育相談の体制を一元化できる
- ・教職員間の意思疎通や調整等に要する時間・労力が軽減できる
- ・子どもたちに多数の教職員が関われる 異学年、異年齢の交流が活発になる
- ・児童生徒や地域の方に「私たちの学校」という意識が生まれる

一貫性・柔軟性をさらに活かせる学校

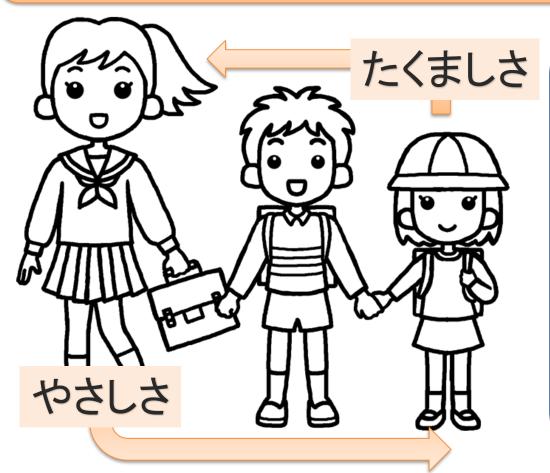
組織面

施設面

社会面

5. 小中一貫教育の今後について

義務教育9年間一貫した教育中学3年生「9年前の自分に出会える」 小学1年生「9年後の自分に出会える」



小学1年生は 中学3年生の姿を観る。 「1年生にとって、 中学3年生は大人」 あこがれをもち、共に歩む

中学3年生は、1年生を観て、 「9年前の自分を 振り返り、成長を実感」

大家族の兄弟姉妹のよう 中学生は「やさしさ」が 小学生は「たくましさ」が 養われる

- 1. 小中一貫教育が求められる背景・理由
- 2. 岐阜市の小中一貫教育の取組について
- 3. 岐阜市型小中一貫校以外の成果と課題について
- 4. 岐阜市型小中一貫校の成果と課題について
- 5. 小中一貫教育の今後について
- 6.論点整理

6. 論点整理

●本日は、主に**以下の事項**について、ご協議いただきたい

● 小中一貫教育を更に進めるために必要な施策について

以上に関するご意見・ご提案